

# カヤックからのお知らせ

## 事業部トピックス

カヤックのメイン事業の今をお話します。



Lobi エンジニア  
かめだきょうすけ  
亀田 京介



ソーシャルゲーム エンジニア  
せいしんいちろう  
清 真一郎



クライアントワーク プロデューサー  
かねやすのぞみ  
兼康 希望



人事部 ディレクター  
ちようざくうざ  
趙 晓曦

2013年に名前を変えた「Lobi」は、ネットを使って複数人とメッセージのやりとりができるスマートフォンアプリです。2014年1月には、スマートフォンのプレイ画面を、遊んでいた人の声や顔も含めて録画できる「Lobi REC SDK」というシステムを日本で初めて開発しました。このシステムは、TVCでもおなじみの大気ゲームにも導入していただけておりました。今後ともLobiにどうぞ期待ください！



Lobi 神ゲーアワード 2014夏という最高のゲームアプリを貰った男が決める賞も開催！



Android ケータイ、iPhone をお持ちの方は、今すぐダウンロード！1日5分で甲子園をめざせ！



530万人は、東京ドーム115個分の収容人数に匹敵！忘れられない仕事になりました！

## 1社だけの合同説明会

## カヤックアワード

### ベストルーキー賞



藤澤 伸 (HTML ファイル部)

2013年新卒メンバーのエンジニア。多数の仕事に積極的に顔を出し、存在感と信頼を得ています。つくることへの情熱を背中で見せ続けています。

### ベストチーム賞



姫ヒヤクチーム

スマートフォンアプリ『姫騎士と最後の百竜戦争』チーム。追い込まれながらも、チーム一丸となって立ち上がり、サービスを世に出しました。

### ベストバズ賞



BIS に JK が正式加入 !!

世界的なファッショントレーナーのコシノジュンコさんが、破天荒アイドルグループに入るというニュースは、ネット上を駆け巡りました。

### ベストクリエイティブ賞



貞子 3D2・スマ4D

映画館の中でスマートフォンを使うという前代未聞の試みに、日本中が震撼。『貞子 3D2』はDVDでも発売され、そちらでもアプリを楽しめます。

## 社員からのスマイル給

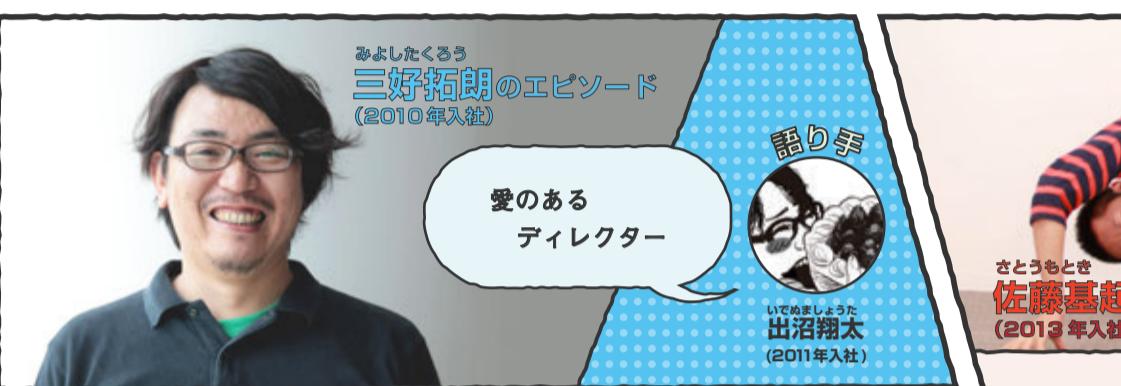
カヤックには、「スマイル給」という制度があります。これは毎月、社員全員がランダムでペアを組んで、お互いに長所をコメントし、それが相手に届くというものです。仕事の喜びは、お金で測れるものだけじゃない。お金に換えられない報酬もあるということを伝える試みです。今回、「カゾック」をお届けした、私たちカヤック社員一人ひとりの大切な人への「スマイル給」をお贈りします。

TO	
FROM	

面白法人力ヤックの社員一人ひとりを、いつも支えてくださり、ありがとうございます。  
「KAZOC (カゾック)」は、カヤック社員一人ひとりの大切な方に向けた“おたより”です。

## 面白法人力ヤック エピソードゴロゴロ

エピソードブログとは？  
カヤックの社員が、仕事や仲間の熱いエピソードを書いて、社内で共有する読み物です。いくつかピックアップしましたので、ぜひお読みください！



みよしたくこう  
三好拓朗のエピソード  
(2010年入社)

愛のある  
ディレクター



いとうもとさ  
出沼翔太  
(2011年入社)

あちこちで叱られて、パソコンはいつもブンブンと音を上げていて、この人は仕事ができないのか？と本当に思っていました。さらに、今でもたまに送られてくる遅刻メールの理由が本当にしょうもない。  
「出がけにガラスのコップ割ってしまい片付けてたゆえに遅刻します。」「開かずの鍵に捕まりました。遅刻します。」などなど。でも、最近僕は、三好拓朗さんみたいなディレクターになりたい！と心から思っています！三好さんはカヤックイチ「愛」のあるディレクターです。クライアントにいつも全力で立ち向かいいます。三好さんは指揮をとるチームのメンバーは、その姿勢に心打たれてなのか、みんな全力で取り組んでいます。ある仕事では、制作陣に過酷な仕事を強いことになったにも関わらず、何故かみんな「楽しかった」と答えていたのを今でも覚えています。三好さんの決めゼリフは「企画が好物です！」。それは「企画」という技を使って、どれだけお客様をHAPPYにできるかということを、本気で真摯に考えたい、ということだと思います。僕は今、三好さんと同じチームで働けて猛烈に嬉しいです。ありがとうございます！三好さんが苦手な部分は、僕が全部巻き取るので、三好さん、最高のパフォーマンスを出してください！パッチリ目標達成できるように、頑張りましょう。よろしくお願いします！！



さとうもとさ  
佐藤基起のエピソード  
(2013年入社)

危険な男ダンゲル

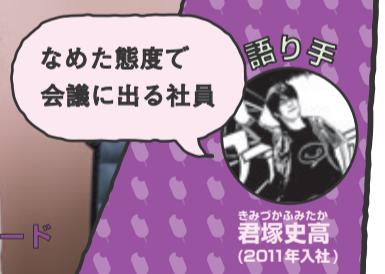


「ぼくらの甲子園！熱闘編」の開発と運用を一手に担う2013年新卒のプログラマーでダンゲルという男がいます。ダンゲルって、すごく変なアダ名ですね。何故こんな奇妙なアダ名がついたのか…話は、彼がチームに配属されて間もない頃にさかのぼります。彼はシステムを修正している際、アラートを無視してしまったミスをしてしまいました。その時、彼が見逃したアラートが、DANGER（デンジャー）でした。この事件がきっかけで、佐藤くんには「DANGER」のスペルをローマ字読みした「ダンゲル」というアダ名が付きました。たった1度の、しかも初めてのミスがアダ名になるなんて…随分とひどい話です。でも彼は、そのアダ名を受け入れました。そこからのダンゲルの成長はすごかった。複雑なシステムの構造を解析して理解する。慎重にテストを重ねる。先回りしてメンバーと一緒にコミュニケーションをとる。安定運用は1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月と続き、さらに、彼はディレクターのタスクである売上の分析まで積極的にやるようになりました。いまやダンゲルは甲子園チームに欠かせない存在です。かつて「危なっかしい男」と揶揄された男は、とても信頼できる安全なプログラマーに成長しました。

いっそアダ名を Safety（セーフティー）に改めた方がいいのでは…。こんな新人と一緒に働くことが嬉しくてたまりません。僕も負けられません。



さとうひろき  
佐藤太紀のエピソード  
(2011年入社)



なめた態度で  
会議に出る社員  
さとうひろき  
君塚史高  
(2011年入社)

あれは、避難訓練の日のことでした。避難訓練が終わり、オフィスに戻ってくると、佐藤太くんがアイスを片手に持ったままウロウロと歩き回っていました。何をしているのか聞いてみると、避難訓練の帰りにアイスを買って帰ってきたものの、この後に技術部の定例会議があるらしく、食べかけのアイスのもらい手を探している、とのことでした。先輩社員たちの前で、アイスを食べながら会議に参加する訳にはいかないと思ったそうです。佐藤くんは眞面目です。お腹がいっぱいだったので、僕は断つてしましましたが、佐藤くんは根気よくいろんな人に聞いて周り、ついにアイスを譲る相手が見つかったようで、頗る技術部の定例会議に向かいました。僕は、そんな佐藤くんのことを見面でいいヤツだなあと思いました。ちなみにその10分後、佐藤太紀くんから「会議でみんなアイス食ってやがる！」との報告がはいました。



彼女の口癖  
たかはしづるみ  
高橋春美のエピソード  
(2013年入社)



彼女の口癖  
たかはしづるみ  
来島政史  
(2011年入社)

「はい、ありがとうございます！」。それが彼女の口癖だ。「ぼくらの甲子園！」チームで活躍する2013年新卒のデザイナーである。去年の秋、彼女は中国人デザイナーのヒョウさんと2人で3つの仕事を同時にすることになった。新卒デザイナーに対しては荷が重い。しかし自分の仕事をこなしながら、ヒョウさんに対して日本語メールの書き方から、日本特有の文化や文脈、デザインのニュアンスを丁寧に教える姿を毎日見るようになった。責任感や義務感を感じさせず、それを自然にできてしまうというのは、基本的に他人に対する愛情やリスペクトがある性格の現れだと思う。そして、どんなにスケジュールが押っていても、ざっくりとした指示や注文に対しても、必ず最後に「はい、ありがとうございます！」と言つてくれる。彼女から、不平不満や弱音を聞いたことがあります。「はい、ありがとうございます！」という彼女の言葉を聞く度に、こちらも仕事に対する姿勢を正されるような気持ちになるのである。



キャラへの愛がスゴイ  
よこやまちひろ  
横山千裕のエピソード  
よこやまちひろ  
後藤裕之  
(2011年入社)

2013年新卒で入社して以来ずっと、スマートフォンアプリ「冒險クリズキンギダム」通称クリキンのデザイナーとして活動している横山さん。自分で手を動かしてデザインするのはもちろん、外部パートナーのデザイナーさんのマネジメントも行っています。そのキャラクターに対する愛情、プロデュース力はとにかくスゴイ！！以前、クリキンがつけ麺博覧会とコラボレーションして、店主が登場するイベントを実施しました。僕は店主のキャラは色違いで同じデザインのものを使えばいいかと思っていたましたが、なんと横山さんは24店舗の店主の特徴をとらえたキャラを作成！！ほかにも、プロレスキャラを色違いで7体追加した時、それぞれのキャラに僕が名前をつけたところ、さらにその名前に合うように、キャラをもう一度デザインし直すほど情熱を込めています。横山さんからキャラのデザインが仕上がってくれば、不平不満や弱音を聞いたことがあります。「はい、ありがとうございます！」という彼女の言葉を聞く度に、こちらも仕事に対する姿勢を正されるような気持ちになるのである。



# 代表からのご挨拶

力ヤック社員を支えてくださっている皆さまへ

1年ぶりのKAZOC第3号です。まずはあらためて感謝を申し上げます。この1年カヤックが無事過ごせたのは、カヤック社員の日々をサポートしてくれた皆さまのおかげです。心から感謝申し上げます。ありがとうございます！

2013年は無事黒字化して終えることができました。ありがとうございます。2014年は、第1、第2四半期が投資、第3、第4四半期で大きく成長させるという計画を立て、それに向かっていま頑張っているところです。僕らの事業領域であるIT業界は本当に変化が早く、毎週戦略を変更せざるを得ないといつても過言じゃないくらいのスピード感ですが、それでも「面白法人」の名にふさわしいように、良い仲間と楽しく働くことができていることにも感謝しています。

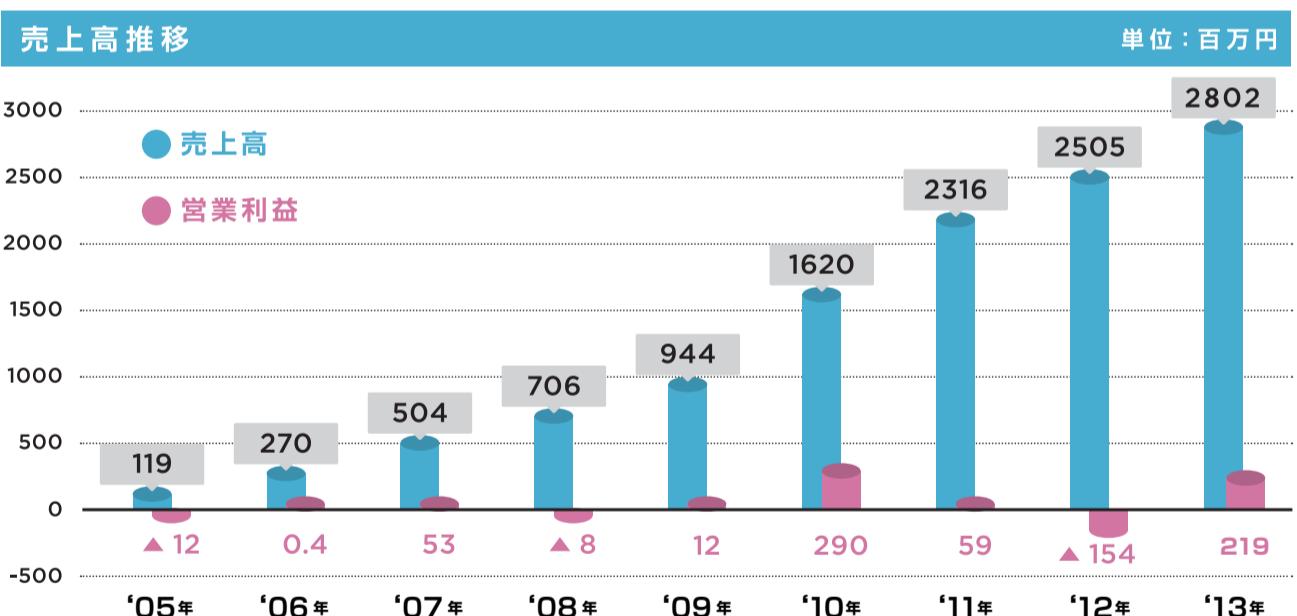
皆さまの大事な人を、カヤックの仲間として引き受けているうえで、僕ら経営陣が、ひとつ大事にしていることがあります。それは、カヤックに入って「ポジティブになった」あるいは「自信がついた」となるように応援するということです。

カヤックは、入社すれば一生安泰、終身雇用という会社ではありません。また世の中そのものも、すでにそういう時代ではないのだと思っています。現在のカヤック社員は約 200 人ですが、過去にカヤックを卒業した人が 400 人以上います。卒業した人の中には、元カヤックの仲間のネットワークを生かして独立しているメンバーも増えてきました。僕らの価値観を押しつけるつもりはありませんが、これはうれしいことです。そして、カヤックに在籍している間は、できるだけ本人の意志を尊重し、全員が仲間の良いところを褒めあうような会社にしたいと思っています。もちろん時には厳しいことも言える仲間で。「カヤックに入って、うちの息子がうちの娘が、うちの夫がうちの妻が、元気になった。自信がついた。」と感じてもらえたなら、とてもうれしいです。そのために僕らは頑張ります。そして、みなさんも僕らの仲間を応援してあげてください！家族の無条件な応援ほど心強いものはありません。引き続きよろしくお願いします。

やなさわだいすけ かいはたまさのり くばともよし  
柳澤 大輔 貝畠 政徳 久場 智喜  
代表取締役

# 財務ハイライト

カヤックの財務状況を、これまでの推移と共にご覧ください。



2013年度の貸借対照表		単位：百万円		2013年度の損益計算書		単位：百万円	
科目	金額	科目	金額	売上高		2,802	
資産の部		負債の部		営業利益		219	
流動資産	1,346	流動負債	636	経常利益		216	
固定資産	460	固定負債	452	当期純利益		131	
資産合計	1,806	負債合計	1,088				
		純資産の部					
		純資産合計	718				
		負債・純資産合計	1,806				

創業から2013年度まで、売上高が順調に増加しています。2012年度は、オフィスの横浜一本化などの積極的な投資による特別な損失があり赤字となりましたが、2013年度は、無事にその業態改革も成功し、黒字化しています。引き続き業績を伸ばせるよう全社員で精進して参ります。